



あの手この手

第9号 2007年7月31日

ほんとは、
8月、やります。
ほーらー!

8月。

大和市民活動センターは
パワフルです。



1

市民活動団体の展示



3

工作教室/キッズサロン

大和の子ども 集れ一つ。
学校と違う「教室」だよ。

8月中 金曜日夜 3・10・17・24・31日 5回実施

キャンドルを灯して、話す、飲む、食べる。
オープンエア、星空の下で。

2

Candle Night Lounge

●.....樋口太郎さんの紹介

この表紙の絵は樋口太郎さんの作品です。大和市民活動センターには樋口さんの絵手紙がたくさん飾られています。希望の方には無料でお分けしています。「朝日 タウンニュース」のインタビューも好評でした。ボランティア活動にも熱心で、老人ホームで絵手紙の指導もなされています。西鶴間在住の大和市民です。



この「あの手この手」の発行は 大和市民活動センターです。

Open: 月～土曜日 9:00 a.m. ~ 6:00 p.m.

電話/FAX 046-260-2586

e-mail: yamato@ar.wakwak.com

URL: <http://park23.wakwak.com/~youkoso/>

2007年8月。
**元気いっぱい
 3つのイベント**を行います。

事業計画担当 山田裕子

★市民活動団体の展示

市民活動団体の活動状況を伝えられる写真などの展示をセンター内で1ヵ月間連続して行います。

展示への参加は随時受けつけています。ぜひこの機会をPRにご利用ください。特に、展示は保守等、センターで行いますので開催期間中は手間がかかりません。展示素材をお持ちになってご相談ください。また、ぜひ活動団体の展示を見にご来館ください。



★Candle Night Lounge

毎週金曜日、夜6時からキャンドルの明かりの中で語らう **Candle Night Lounge** (キャンドルナイトラウンジ)を開催します。

市民活動団体の皆様には、活動場所として知られているセンターですが、地元の方々ともふれあう機会をひろげ、街づくりにも役立てていきたいと考えています。

ただ今サポーター活躍中!

～頭のとっぺんから足の先まで『社会資源』がいっぱい!～

菊池和久さんは、障がい者の人たちとの関わり方をマスターするために、ホームヘルパー1級の講習を受け、神奈川県男性第1号の取得者となり、知的、精神、身体障がい者の方たちをサポートしています。その他、災害救援ボランティア講習を受けてセーフティーリーダー認定、災害時におけるボランティアコーディネーター、「住宅改善士」「知的障がい者ガイドヘルパー」「福祉用具専門相談員」など資格を取得し、必要と思ったところで講習を受けてボランティア活動を実践しています。市民活動センターの看板制作にも力を発揮していただきました。(事務局 石川)

サポーターになってください!

～こんな方を必要としています～

現在の企画 と サポーター募集の内容です。

- 広報関係 チラシ、ポスター作製
イラストの描ける方、ホームページ更新
広報誌発行
- 交流会イベント 「おしゃべりラウンジ パルス」の企画
広報・準備・開催 他
- セミナー 「共育マネージメントセミナー」
準備・広報・開催 他
- 市民活動団体ガイドブック作製作業
企画にそって発送した原稿の回収 他
- 市民活動団体 活動内容。市民活動の調査
意義ある活動をしながらも、あまり知られていない市民活動団体の実態を様々な市民活動の場を訪ねて記録・広報。
*詳しくは 当センターまでお問い合わせ下さい。

★ 工作教室「キッズサロン」

子どもたち向けに工作教室を開催します。普段、大人ばかりが集まるセンターですが、工作教室に参加しない子どもも、夏休み中の宿題や自由研究をしに立ちよってもらいたいと思っています。



ただ今「登録団体のガイドブック」を制作中です。

たくさん市民活動団体があり、人の数だけさまざまな活動があります。登録市民活動団体の活動を多くの人たちに知ってもらいたくて、ただ今 団体のガイドブックを制作しています。出来たガイドブックは様々な場所で市民の目にふれるように設置される予定です。今回は、寄せられている情報の中から、いくつかをご紹介します本号に**投げこみの4ページ**です。個性的な活動がもりだくさんですが、今回は NPO 法人設立記念として NPO かながわ県央マンション管理組合ネットワークのインタビュー記事をトップページに掲載しました。紙面の関係で掲載できなかった記事は次回、ご紹介いたしますので楽しみに。「ガイドブック」の原稿を返信されていない団体はお急ぎください。また、インタビュー希望の団体はご連絡ください。

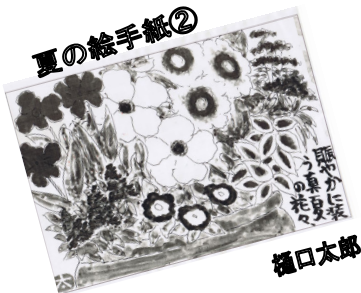
★大和市民活動センターが紹介されました。

地域の月間情報紙『HIT』(発行・制作 平田自動車株)

「あの手この手で考えて あの手この手で楽しもう」そんなつぶやきの聞こえる中 展示物をかこんで市民活動団体どうしの交流が生まれた様子が HIT 6・7月号に連載されました。



夏の絵手紙②



樋口太郎

これなに？ こんなの見つけた！

近ごろ まちに はやるもの

中央林間駅の東急ストア前に立つバス停。近づいてみると、時刻表ではなくて、清掃活動の日程が書いてある！

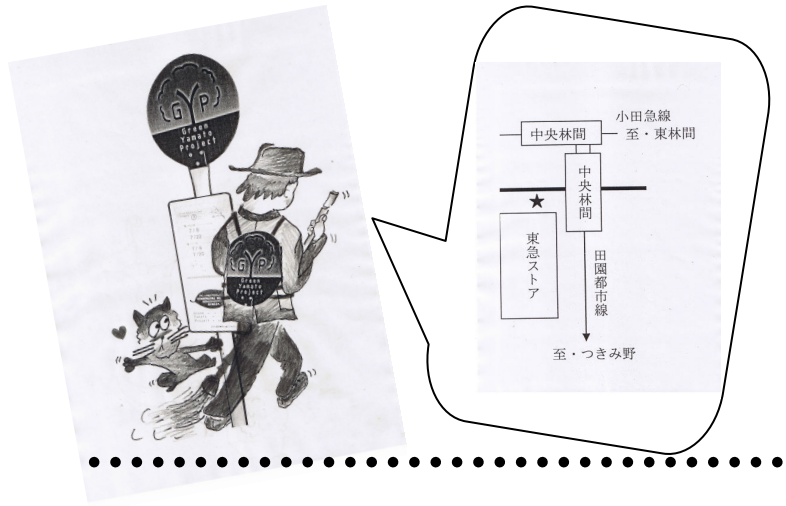
実はこれ『グリーンやまとプロジェクト』(GYP)のサインボードで、古くなったバス停をリサイクルして作ったものなのです。

『グリーンやまとプロジェクト』では、中央林間駅前を緑いっぱい花いっぱいにするために、毎月2回、美化活動を行なっています。

キャッチフレーズは

「中央林間駅前をガーデニングしよう！」

待っていてもバスは来ないけど、ステキな風景がきっとやってきます！
(GYP メンバー・山口淳史)



ある日 あるとき

センター日誌

2007年 4月～7月

事務局にいると色々楽しいですよ。
いくつかを皆さんに紹介します。

5月24日(木) 晴れ

第3回共育マネージメントセミナーが開催されました。小杉さんを講師に迎え、「泣く紙、笑う紙」と題して紙による効果的な伝え方を学びました。ある団体のリーフレットを参考に、自分だったらどう表現するか、参加者全員でワークショップしました。これからは「笑う紙」を多くしたい、と心がけます。

5月30日(水) くもり

社会資源グループのメンバーが登録団体に送る「市民活動ガイドブック作成のためのお願い」「記入例」「記入用紙」の印刷をしました。「ガイドブック」は思わず手にとって見たくなるように、各団体からの個性ある記入を期待します。

6月5日(火) くもり

「ワーカーズコレクティブ想」の方たちが、ケアの合間の貴重な時間をミーティングに集まって、またケア先にと自転車走らせていきました。利用者さんにとってはなくてはならない存在の方たちです。車に気をつけて元気で活動してほしいです。

6月16日(土) 晴れ

「おしゃべりラウンジ パルス」の第2回を開催。今回の自己紹介は「活動しているの悩みを言いましょ！」と、司会者のアイデアでそれぞれの悩みが語られ、なごやかに情報交換ができて「参加してよかった」という声が聞けてよかったです。

朝日シティニュースの小山記者が取材で参加され、終了後は絵手紙でボランティア活動をしている樋口太郎さんがインタビューを受けました。

6月21日(木) 晴れ

中央農業高校3年生の男子生徒が「ボランティアしたいんですけど、、、」と来館。さっそく24日(日)開催のグリーンやまとプロジェクト主催の「街庭プロジェクト」を紹介しました。「街庭プロジェクト」は中央林間駅前を街庭と考えてガーデニングをしよう！というステキな活動です。「友だちを誘って参加してくれるとうれしいです」と伝えました。

6月25日(月) くもり

高校生などのボランティア活動の参加につながればとの想いで、視覚障害者の方たちの卓球を見学してきました。全国大会3連覇の実績を持つ女性をはじめ、皆さんいきいきと楽しそうに卓球をしていました。話を伺い、実際に見て体験させていただいて、前向きに生きることの大切さを実感しました。

6月28日(木) 晴れ

「Candle Night Lounge」の打ち合せが運営委員4人とサポーター3人の合計7人が熱く語り合い、楽しい企画が生まれていく様子はウキウキしてきます。8月一月限りのイベントです。みんなで盛り上げましょう！

6月30日(土) 晴れ

開館時から13:30までピコピコのシニアのための携帯電話講習会の第1回が開催され、18名が参加されました。連続4回の企画で、各回とも定員に達しているとのこと。「便利だけれど、使いこなすのは大変」と思ってる方が多いと実感しました。

7月6日(金) くもり

「引地川かわくどり実行委員会」のかわくどりが7月16日(月・海の日)に開催される。23日には韓国新聞社が取材に来られるので、かわくどりの様子を動く映像で紹介できればと、ビデオ撮影をされる野田和男さんに話をしたところ、快く撮影を引き受けてくださり、13日(金)にセンターで打合せということになりました。まさに社会資源の活用です。

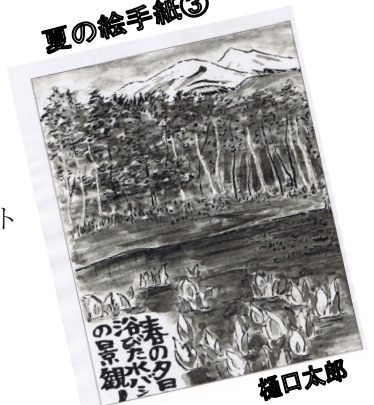
7月10日(火) 雨

フリースペースがいろいろに活用されるようになり、市民活動をする人たちにとって、市民活動センターの存在が当たり前になっている現実を実感しています。何だか楽しそうだから寄ってほしいと、センターでの『Candle Night Lounge』に参加してくれる人が増えるといいな～、と思っています。

7月12日(木) くもり

サポーターの方がパソコンのエクセル設定をしてくださって、計算の苦手なスタッフとしては大助かりです。パソコンにとどまらず、「あの手この手」のイラストイベントごとに出すチラシのイラストと社会資源を有効に活用させていただいています。

夏の絵手紙③



もう4回 「市民活動共育マネージメントセミナー」報告

「NPOって?」わからない テーマ:NPOと法人制度
7月20日(金)18:30~21:00 ゲスト:椎野修平さん

椎野さんは長年かながわ県民活動サポートセンター・サポート部長を務められ、NPOや市民活動の実状に詳しく、大和市の現状もよく承知されており、随所に引用されたり、多くのデータに裏打ちされたお話は示唆に富むものでした。
「公益は誰が決めるのか?」民法34条(国)が決めるのか、特定非営利活動促進法では「市民」の字が葬られたにもかかわらず1ヶ所だけ残っていた話など興味深いものでした。参加者は13名でしたが、もっと多くの方々に聞いていただきたい内容でした。

第5回目の共育セミナーは9月25日(火)18:30から小山紳一郎さんによる「活動資金がない - 助成金をゲットする“申請書”のうまい書き方」を開催の予定です。

夏の絵手紙③



樋口太郎

カッターフェスタ (活動交流フェスタ)

たくさんの方々の市民活動団体の方々と熱い交流ができますよ!!
お申し出お問い合わせをお待ちしています!!



ただいま、市民活動センタースタッフとともにカッターフェスタの企画運営をしてくれる市民活動団体の実行委員を募集しています。

昨年は約300の団体が出展。開催日近くなると、私たちも出展したかった、という意見もあるなど楽しい雰囲気の中、2日間開催されました。

今年の秋も、「市民活動団体 活動交流フェスタ 2007」
略称:カッターフェスタ2007 を開催します。
*十一月三日(土)四日(日)予定

カラを破るつよ

サポーターになりました。

浅見さん、
サポーターに
応募された理由は?



定年後、役立てることは無いかと

建設業の事務で永年携わって定年を迎えたが、まだまだ元気。趣味と健康のための時間は欲しいが悠々自適の生活だけでは、まだ早い。

これからお世話になる地域に何か役立てることはないか。

と、今年5月、市役所市民活動課に相談。市民活動センターの存在を知り、早速訪れ情報の収集をはじめました。持っている知識、経験を活かせないかとセンターに通ううちに、センター自体の活動に興味をもち、センターのサポーター募集に応募しました。

独りよがりではない、みんなのための広報誌。伝えたいことがまだまだたくさんあります。お会いする方々の活動を文字にしたいとき、たくさんの方々の事柄を伝えきれずにこぼれおちていってしまう。そんな事を思いました。(山田裕子)



地域の案内チラシを頼まれた。書体が気になる、曜日を加える、イラストを描き直す、スペースをとる、行間を開けてみる。あ～、駄目! お馴染み「あの手この手」の愉快的仲間からアドバイスをもらって仕上げたいところだが・・・夜中に孤軍奮闘!(望月則男)

第4回共育セミナーから始まり、おしゃべりラウンジパルス、8月のキャンドルナイトラウンジ、工作教室と夏のセンターはたくさんの方々のイベントが続きます。広報誌も盛りだくさんの内容となりました。イベントと合わせでお楽しみください。(中山みゆき)

表紙を描いてくださっているご高齢の樋口さん。ご自分の子ども時代がいかに豊かであったかが本号の表紙から伝わってきます。地域の子供は愛され、守られ、じいちゃんばあちゃんにまわりから敬愛されていることがわかります。(小杉皓男)

後記 編集 熱血

これまでの「あの手この手」はA3見開き4ページでしたが、伝えたい内容が多く、あれもこれもと、紙面一杯になっていました。ならばと今号は紙面を8ページに増やしてレイアウトしました。全て手作りの広報誌で、編集者一人ひとりの知恵と汗の結晶です。楽しみながらご覧いただければ幸いです。(間瀬富隆)

今回からサポーターとして編集仲間になりました。学生時代新聞部員だったことを、50年経って思い出しながら携わりましたが、市民活動の情報もいろいろ知ることができました。読者を近く感じながら広報努めてまいります。(浅見正明)

今年の夏は暑くなりそうだ。そんな日は子ども達の熱気に遊び、宵はキャンドルの元で熱く語ろう。(関根孝子)

大和市民活動センター登録団体の紹介<特集>

～団体紹介ガイドブックより～

現在製作中の<ガイドブックへ投稿いただいた団体>を紹介します。(原文を載せております)

また、昨年行われましたNPO法人設立事務説明会へ参加された団体の、NPO法人化された記念すべき第1号として「NPOかながわマンション管理組合ネットワーク」(略称: 県央ネット)を特集しました。

<<<特集>>>

かながわ県央マンション管理組合ネットワークとは

神奈川県央地域に存する分譲マンションの管理組合の管理運営並びに当該マンション及びこれに不随する施設の保全にかかる共通の問題可決の場として、情報交換、支援等を行い、以ってマンション管理の適正化と入居者の生活向上に寄与することを目的とする。

(目的: 会則第3条より)

<県央ネット 事務局の方へインタビュー>

県央ネットは、昨年11月のNPO設立事務相談会に参加した団体で記念すべき第1号としてNPO法人化をされました。市役所などで、分譲マンションのさまざまなトラブルについて無料で相談を受け付けています。また、必要に応じて弁護士や建築家を紹介しています。事務局の向井さんに、いままでどんな相談があったかお聞きしてみました。

Q: いままでどんな相談がありましたか?

A: 昨年の例では、ベランダの手すりがさびて外れ、洗濯物を干していた住居者が転落する事故がありました。

Q: 怖いですね。それは、どれくらい古い建物でおきたんですか?

A: 築20年くらいです。

Q: まだ、老朽化しているとはいえない建物ですね。

A: ええ。施工上の欠陥があったようです。それに早く気付いていれば防ぐことができた事故だったと思います。

Q: それは建物の点検などがされていれば、ということでしょうか。

A: そうですね。従来から、購入して2年の間に瑕疵が見つかった場合は、分譲業者・施工業者が無償修理の責任が有ります。平成12年には、「住宅の品質確保の促進に関する法律」(品確法)が施行され、主要躯体の瑕疵担保責任は10年間になりました。どんなささいな不具合でも、管理会社に任せきりにしないで、NPOかながわ県央ネットや専門家等の第三者から情報を集め、管理組合が不具合を積極的に発見する努力をしていくことが重要です。輪番で選ばれた役員であっても、「自分たちの資産は自分たちで守る」という意識が大切ですね。

Q: ほかにどんな相談が?

A: 居住者間の三大トラブルの1つにペット問題があります。ペット禁止のマンションでも15パーセントくらいはペットを飼っている人がいるようです。

Q: 意外と多いですね。どんなトラブルがおきていますか?

A: たとえば、エレベーターの中で犬がおしっこをしたとか、ベランダでペットの毛がついている敷物をはたいて階下の洗濯物が汚れたなどがあります。あとは鳴き声などですね。

Q: それは困りますね。ご近所ではなかなか言い出しにくいでしょうし、そういう相談にはどういった解決を?

A: 基本的には、管理規約を改正して飼い主の会を作ることです。飼い主の会で、苦情やしつけ教室を開催し、みんなでマナー向上をはかっていくことが望ましいですね。

Q: 管理規約について教えてください。

A: マンションを購入すると、自動的に管理組合の構成員になりますが、この管理組合の規約がまず、住民の生活にあていないことが多いんです。分譲会社が一律に定めた原始規約のままが多い。たとえば、都心のマンションと郊外の団地型マンションとか、小さな子どもがいる家庭が多いか、高齢者世帯が多いか等、それぞれのマンションの特性にあった管理規約を作る必要があるのです。また、時代の変遷や、ライフスタイルによって改訂する必要があります。

Q: 規約の改正について居住者の間で話し合いはされているのでしょうか?

A: 管理組合の運営は、各フロアや各棟で選ばれた役員による理事会によって行いますが、役員は、輪番制で1年任期が殆どです。やっと慣れた頃には交代の時期、面倒なことは先送りとなり、重要な問題ほど、議論が不十分となります。そこで神奈川県では、マンションの管理組合をサポートする6つの地域ネットを構築しています。大和市や海老名市、厚木市等の県央地域では「NPOかながわ県央ネット」が、マンション管理組合の難問解決のサポートをしています。

Q: 相談はどこで行っていますか?

A: NPOかながわ県央ネットでは、毎月第4に市役所1Fの(広聴相談課)で、「マンション管理」の無料相談を行っています。ありがとうございました。

～お知らせ～

NPO 設立記念セミナー「マンション管理組合のトラブル」

日時: 8月5日(日)14時～16時

場所: 大和商工会議所ホール 参加費: 無料

申し込み: マンション名、お名前、住所、人数、電話番号を記入のうえ、下記へ FAX または電話下さい。

TEL/FAX 046-233-3844(吉田)

携帯 090-8170-3770(向井)

よくあるマンションのトラブル相談について、弁護士の講師がわかりやすく解説します。

興味のある方、是非おいでください。

～大和市民活動センターからのお知らせ～

8月1日から31日まで、市民活動団体の活動状況がわかる展示会を市民活動センターで行います。

展示する団体は8月中旬ごろまで応募を受け付けています。写真や絵、図や文書、作品などをお持ちになって事務局へどうぞ。お預かりしたものは、8月末まで事務局で管理し、9月になったら返却します。展示場所はフリースペースおよび会議室です。会議室使用は平常どおりです。

パソコン・コミュニケーション・アシスト ピコピコ

「パソコン」で何かをしたい方！！

ピコピコでは“PC ボランティア”、“福祉情報技術コーディネータ”、“ボランティア講師”、“PC インストラクター”、“Web 作成(在宅)”、“事務スタッフ(在宅)”などさまざまな分野で活動できます。

＜設立趣旨と目的＞

人々が平等に生活できる社会、QOL(生活の質)を高めるための支援で、豊かな暮らし、コミュニケーションができる地域社会作りを目指し、パソコンやICT(情報通信技術)を通じて社会参加や職域拡大・就労実現を含む各種の自立支援活動に関する事業を行い、社会全体の利益増進に寄与することを目的としています。

“求む！人との繋がりを大切にするかた、生きがい・やりがいを見つけないかた、優しいハートを持っているかた”

代表者名 渡辺由美子

tel/fax: 046-262-2333 E-mail: info@pico-pico.org

NPO あつみらい21

私たちは平成14年設立の団体で、多くの方々のご協力で5周年を迎えました。

私たちの理念として、21世紀の地域社会に相応しい「活力あるまちづくり」を目指します。

私達は中小企業診断士を中心としたプロのコンサルタント集団で、県央地域の振興を心から願い、中小企業の経営相談や創業・起業を目指す方々の支援を、訪問しての相談や、セミナーの開催を通じて活動しています。

地域の皆様、団塊世代の皆様との連携を強め活動します。

身近な相談相手として是非ご活用ください。

大和地区担当理事 渡辺秀夫 tel/fax: 046-276-1963

E-mail: wjimusho@jcom.home.ne.jp

ナチュラルボランティアグループ

代表者名: 西村嘉賜子

Tel/fax: 080-1354-0771

活動日: 第2金曜日、第4水曜日

場所: 大和市民活動センター会議室

ハンドテクニックにより、お肌の活性化を促しリフトアップ & リラクゼーション効果の高いマッサージをさせていただきます。お顔も心もリフレッシュ！！

フェイシャルマッサージ 2000円

フェイシャル+ハンドケア 3000円

ナチュラルボランティアグループ

女性専用・予約・お問い合わせ

080-1354-0771(担当: 鈴木)NPO 法人

大和こどもミニディサービス

ワーカーズコレクティブもこもこ

保育室もこもこ

大和にくらす人々が、安心して子どもを生き育てることができるよう、何か困ったとき、苦しいとき、安心して子どもを預けられる保育室を作ろう！と、2002年3月に中央林間のビルの1室で始めた小さな保育室です。

小子化と言われる中、大和では若い世代の流入も多く子どもの幼い内から就労を希望する方も増えています。

一方で核家族化により、親や兄弟の入院、第2子の出産、障害のある子どもやその兄弟の支援などが必要になる場合も多く、ニーズは多岐にわたっています。

どういう依頼であっても、ニーズをできるだけ受け入れていくことで子育ての不安が少しでも除くことができたらと思っています。(右上に続く)

「地域の親子の止まり木」、そんな拠点となれるよう、メンバーそれぞれできる力を出し合って日々頑張っています。

代表者名: 堀部 千穂 Tel/fax: 046-277-2480

活動日: 月～土 場所: 保育室もこもこ

点図サークル オーロラ

点図って何？と思われる方が多いと思いますが……、視覚障害者の為に開発されたソフトを使った「触る図形」のことをいいます。パソコンでデータを作り点字プリンタで打ち出すことによって図が浮き出た点の組み合わせで表されます。点字同様、それらの点に触ることで目の不自由な方も図を認識することが可能です。

私達のサークルは展示を読む方には地図などの図を依頼に応じて提供していきましますし、中途失明等で点字を使わない方には、すでにご存知のカナや数字の形を指でなぞって読む点図フォントのカレンダーや日めくりを提供していきます。

初めて点図を手にする中途失明の方にとって、カナや数字を指で触って読むことは大変な作業であり、まだるっこしくも感じられるでしょう。でも、もともと知っている文字なので、パズル感覚で解読に慣れていただけたらと思います。慣れてくると読み取りも早くなりますから生活の中で情報獲得のひとつの手段として点図を利用してほしいと願っています。利用者の中にはカラオケの歌詞に触るカナの組み合わせで読んでいっしょの方もおられます。

点図は点字とは違い、きまりがあまりない為、私達ボランティアは如何にわかりやすい図を作成していくかを心がけて作業しています。出来れば多くの方にボランティアとして参加して頂きたいのですが、現在は活動場所がせまく、会員を増やす状況でないことが残念です。

代表者名 元木 裕子 Tel/fax: 046-264-5228

活動日: 月2回火曜日(午後1時半～) 場所: 代表者宅

ショクハミライ 食のアトリエ

グループの活動目的

「食のアトリエ」が結成され、活動をスタートしたのは、平成4年(2002年)10月です。生活クラブ生協のメンバーが母体となってスタートしました。「安心な食材、本物の食材を通して食べることを楽しむ」「無垢な舌を持つ子どもたちに何を食べさせようか」そんな思いで活動しています。

＜主な活動内容＞

「食のアトリエ」は、市内の学校やコミュニティセンターを主な活動場所として、以下の活動に取り組んでいます。

企画開催 市民に対する食事作りのイベント

食材の選び方学習会 市民向け講演会 地場野菜を使った料理会 レシピ集の作成 定例会 月1回(不定期)

＜会員募集中＞ 楽しみながら一緒に活動しませんか！

代表者名: 竹川竹代 Tel/fax: 046-276-0767

E-mail: hicya@abox8.so-net.ne.jp 活動日: 不定

活動場所: 大和市民活動センター、ボランティアセンター・他、調理室のある施設

「食の未来」上映実行委員会

私達の食を見直すための必見ドキュメンタリー！

遺伝子組み換え作物の誕生から、その技術、世界に広がっている問題を、映像を通して分かりやすく描いているこの「食の未来」を見ることで、これまで分からない、知らされずにいた事がよくわかります。

・作物が農薬として登録

害虫抵抗性トウモロコシに代表される、虫が食べて死んでしまう成分を作り出す遺伝子操作技術が、特許を持ち、その作物は農薬として登録されています。(私たちは、農薬を直接食べていることとなります。)(次ページ上に続く)

・遺伝子組み換え作物の播種

輸入されている種子(タネ・加工用、栽培用)が、こぼれて道路脇に自生しています。花粉が飛び、昆虫が花粉をくっつけていき、同じ仲間の作物が、知らない間に遺伝子組み換え作物となってしまう可能性があります。

・食べてアレルギー症状を発症

本当に食べ続けて大丈夫かは、十分検証されていません。検証される法的仕組みが設けられていません。

(開発企業が進めやすいようになっています。)

数人からでも、何処でも、見たいと希望の方連絡下さい。

代表者名: 入沢牧子 Tel/fax:046-276-1064

活動日: 不定期

活動場所: 大和市民活動センター、上映会場(コミセン)、学習センター、個人宅等)

市民のための介護保険をつくる会

1998年9月に発足

年1回総会 年3, 4回の会報発行「ころぼっくる」月1回の運営委員会 地域懇談会、施設見学、学習会等を実施しています。

<目的> 1. 介護保険制度の実情を知り、
2. 困ったことなど話し合い、考え合って
3. 私たちが望む介護保険を作っていきます。

予定9月24日(月)振り替え休日 第9回総会
ドキュメンタリー映画「終わりよければすべてよし」上映と、羽田澄子監督トーク

活動日: 毎月第3土曜日運営委員会

活動場所: 大和市民保険福祉センター4階

会員数105人 会費1200円/年

軽度発達障害の子を持つ親の交流会「らんとまん」

「らんとまん」とは、フランス語で「ゆっくりと、ゆったりと…」などという意味です。

個人個人の成長を他人と比べずゆっくり見守る、のんびりマイペースの子どもの個性を認める、という意味をこめています。

<発達障害とは> 「発達障害支援法」より・

自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害(LD)注意欠陥多動症(ADHD)、その他これに類する脳機能の障害があってその症状が通常低年齢において発現するもの。知的な遅れの無いものを軽度発達障害と称しますが障害が軽いわけではありません。

この障害について知っている人はまだ少なく、私たち親は悩みを打ち明ける場所は少ないと思います。

同じ悩みを持つ親同士 おしゃべりしませんか♪
青少年センターの他にランチや子ども連れで公園に出かけたりもしています。現在は小学生～高校生までの親で活動していますが年齢・診断の有無は問いません。

代表者名: 平野 舞子 Tel/fax:090-2157-6283

活動日: 月1回程度活動場所: 青少年センター他

総合型地域スポーツクラブ 大和市体操協会

大和ジュニア体操・新体操クラブ

体操 マット運動を中心に、倒立やハンドスプリングを出来るように目指します

新体操 バレエを基本とした動き作りや柔軟性を養い、ボールなどの手具を使います。

男子新体操 柔軟性のある動き作りや、スティックを使った演技作りをします。 <見学体験募集!>

代表者名: 関 健寿 Tel/fax:090-8450-7819

E-mail:rsg95@hotmail.com

活動日: 毎週木曜、強化練習週末

活動場所: 大和青少年センター、大和スポーツセンター

大和ホタルを楽しむ会

大和市内の湧き水があるところで、ホタルの光の舞を見たいと思い、ホタルの飼育をしています。

市内の中学校ではホタル用のビオトープ池に、放流して3年になりますが、学校関係者皆様のご努力で毎年ホタルの飛び交うさまが、地元の皆様に喜ばれております。

また、上和田にある森では、森の維持に携わっている会員の皆様のご努力により、ホタルが飛び出して2年になります。今後も、5月末から6月中旬にかけて、優雅に光りながら舞う源氏ホタルを市民の皆様と一緒に楽しんでいただけるよう活動してまいります。

代表者名: 松島 充則 Tel/fax:046-261-4268

E-mail:mmatsu27@nifty.com

活動日: 不定期

活動場所: 大和市内および県内

かたつむりの会 (日本語教室)

私たちは1993年から、インドシナ難民や、その呼び寄せ家族、その他大和市周辺に居住される外国人に対して「日本語学習支援」を続けてまいりました。

「日本語学習」が中心ですが、教室外活動としてみかん狩り、NHK 見学、いずみの森バーベキュー(今年は14回目)などを行い、相互理解、交流を深めています。私達ボランティアにとっても、とても楽しく遣り甲斐を感じながら過ごした14年間でした。効率的な楽しい学習時間を提供するために、学習終了後や期末のミーティングで議論、勉強を続けスキルアップに努めています。

期末ミーティングはその後の「ノミカイ」も大きな楽しみになっていま～です。

日本語ボランティア養成講座受講者、その他日本語学校420時間修了者など日本語学習支援に関心のある方、一度現場の見学にいらっしやいませんか?

代表者名: 葛島 洋子 Tel/fax:045-531-8251

活動日: 毎週土曜日 10時～12時

活動場所: 大和市民青少年センター/大和市民活動センター

久田緑地くらぶ

久田緑地くらぶは久田緑地をフィールドに定期的に森を手入れしながら、森の恵みを活用して里山の暮らしを再現しようとして活動しているボランティアグループです。

久田緑地は、小田急線桜ヶ丘駅から約15分のところにあり、境川にそって南北に細長く伸びている緑地です。

かながわトラストみどり財団が地権者さんと保全契約を結び、緑地として保全しているトラストで、約5.68ヘクタールの面積があります。

現在、久田緑地くらぶでは、緑地の竹林の手入れを中心に、地権者の方の農作業のお手伝いなども行いつつ、伝統的な文化を学ぶ講座を運営しています。

また、農地部会として、農家の方から農作業のやり方を学ぶ講座もあります。

楽しく森の手入れをして見たいかた、森の中で汗を流したい方、里山に培われた知恵に関心のある方、ぜひ久田緑地くらぶで汗を流しませんか?

代表者名: 小川一郎

Tel/fax :090-5827-7751(tel)土屋

046-268-6141(fax)吉川

活動日: 不定期

活動場所: 久田緑地、桜ヶ丘コミセンなど

小さな地域参加を考え行動する会(仮称)

潜在する社会資源(人の知恵・知識・経験)の掘り起こしとその自由な活用を目的としているが活動方法については模索中。

(例えば雑誌の中から活動対象を見つけ、小組織にて成果を出せる活動をする。類似既成団体等と協調することもある。等 代表者名:浅見 正明 Tel/fax:046-260-1858 E-mail:asamims@jcomhome.ne.jp

やまとケナフの会

“地球にいいこと、みんなでしよう”

ケナフの普及、提唱活動を中心に、環境保全に取り組んでいます。

ケナフは、アオイ科ハイビスカス属の1年草で、4~5ヶ月で高さ3~4Mに育ちます。成長が早いので二酸化炭素を多く吸収します。また、非木材紙として紙の原料にもなり、地球に優しい植物です。

根は1年で枯死しますので、植物の生態系への悪影響事例はありません。

昨年は生活全般から、温暖化防止など環境負荷低減を図るため「ロハス推進事業」にも取り組みました。

活動内容:ケナフ栽培:紙漉き:環境教育の出前講座:会誌発行 etc

代表者名:長谷川富美子 tel 046-267-0077

E-mail:mico@kxb.biglope.ne.jp

大和泉の森作業所

泉の森作業所は、障害をもつことなどにより一般企業で就労することが困難な人たちの働く場所です。

雑誌「小学1年生」の付録の組み立てや、学校教材のセット、補聴器メンテナンスセットの組み立て等といった下請けの作業、また、裏のあおげら農園では、自然農を目指した畑作業を行っています。

それと同時に外出を通して色々な社会体験をしたり、地域の方々に泉の森作業所を知っていただく活動なども積極的に行い、心の豊かな活動をしてゆこうと考えています。

今回は下記の活動に参加していただくボランティアさんを募集しています。

少しでも興味ある方は是非ともご連絡ください！お待ちしております。

A<ワンデー企画>

一日外出の活動へ一緒に行き頂くボランティアです。時間はたいいて10時~17時くらいです。7月と8月はワンデー暮れ企画といって15時~21時くらいの時間帯の外出企画です。

B<あおげらマーケット>

毎月第4土曜日のマーケットを一緒にやって頂くボランティアです。

土曜日に作業所を開放して地域のみなさんに泉の森を知ってもらいながら、ワイワイガヤガヤと行っています。

時間は9時半から16時半くらいです。(担当:中村)

代表者名:山岸 安志 Tel/fax:046264-2218

E-mail:aogera@a4.ctktv.ne.jp

深見中原自治会

「みじかな集まり、みんなの自治会」をモットーにご近所の交流を進めています。自治会のイベントから輪を広げ大和市の催しにも参加していきたいと思ひます。

また自治会内の子ども会・体育振興会・老人会などのネットワークづくりをベースに市民活動団体と手をつないで地域活動を盛り上げたい！自治会にも“共育”が広がったと思ひます。代表者名:望月 則男 Tel/fax:046-262-1019

E-mail:norimoch@smail.plala.or.jp

外出介助サービス NPO 法人たんぽぽ

わたしたちNPO法人「たんぽぽ」は、障害のある方や要介護認定者など一人で外出することが困難な方々のために、車による外出介助サービスを提供しています。

サービス内容は、会員の自家用車によるものと車イス対応のリフト者を利用するものの2種類ですが、どちらも国土交通省の許可・登録を受けるために必要な資格または要件を満たすことが必要です。

現在サービスを受けたい方及び運転会員のどちらも募集していますので、詳しくはホームページ又はパンフレットをご覧ください。

代表者名:廣瀬 徹 Tel/fax:046-219-0764

E-mail:npo-tanpopo2005@jcom.home.ne.jp

絵手紙で慰問活動をしています

(個人ボランティア活動)

私の願い、小さな喜びの輪を広げたい!

慰問活動を始めてこの5月でまる7年になります。まさに

「月日は光陰の如し」です。当初の5年余は歌だけで慰問を致しておりましたが去年3月より「絵手紙」での慰問も始めました。歌は最初は一人でしたが今は協力して下さる方がお2人おり、毎回愉快地に慰問をしています。絵の方は始めて日も浅くこれから充実していく所在です。

さて「絵」の慰問ですが今3箇所です。元々絵が好きで、かねてから絵で慰問できないものだろうかと考えておりましたが、「絵手紙」での慰問を思い付き施設の方の賛同を得始めましたところ好評でありまして現在に至っております。私のやり方は水彩画のやり方でお年寄り向きに簡略化して行っております。今ひとりですがもし私のような老人に協力して下さる方がおられれば「奉仕活動」を目的とした明るく楽しい会を作ろうと思ひます。よろしくお願ひいたします。

代表者名:樋口 太郎 Tel:046-261-2113

カルチャースクール 大和毎日

生涯教育・仲間づくり・健康づくりに約50講座を開講しています。英会話・韓国語・版画・水彩画・日本画・はがき絵・気学・手編み・木彫り・色えんぴつ画・トールペイントなど文科系および趣味講座や、ヨガ・バレエ・フラメンコ・新舞踊・気功などあります。

65歳以上の方は入会金は無料。子どものためのダンス・書道・絵画・空手・バレエ教室もあり、皆さん元気いっぱい活動しています。

お問い合わせは気軽にどうぞ。

代表者名:真田 まさ代 Tel/fax:046-264-1661

神奈川伝統芸南京玉すだれ伝承会

~ピエロ・ジャグリング~

(活動内容)口上!江戸伝統芸南京玉すだれの基本応用

実技は老人施設等で実際披露 6ヶ月~1年で終了後希望者は終了証を授与

ボランティア活動、生涯の特技として大和市で活動していただきます。(みんなはじめは素人です。)

南京玉すだれは練習用等安い価格で購入できます。

ミスターラッキー

演目:南京玉すだれ・中に浮く棒・シガーボックス・3つ

のボールジャグリング・チンドンミニ太鼓・南米オカリナ等
和芸・洋芸 OK!

代表者名:ミスターラッキー(村田)

tel/fax:045-367-0202

090-4527-9714

E-mail:m-u-r-a.7777.y2@docomo.ne.jp